

R7.8月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
8月1日	8月7日	7日	慢性心不全の憎悪	ベースメーカー留置中 全身（顔面、体幹、手背、両下肢）浮腫あり。Dr診察聴診 心雜音著明、 採血施行 心機能BNP値4472↑↑↑ 胸部レントゲン撮影 結果：左右葉間に胸水貯留認む。 慢性心不全増悪の診断。 4-7利尿剤フロセミド(20)1錠1×1 朝 内服開始。 体温38.1°C 検尿 亜硝酸(-) 尿蛋白(+)、潜血(-)白血球(2+) 抗菌剤 3日間投与 ピクシルリン配合錠3錠3×1
8月3日	8月8日	6日	尿路感染症	KT38.7°C 検尿：亜硝酸(+)蛋白(+)潜血(+) 白血球(#) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤6日間投与 Rp)ピクシルリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
8月2日	8月5日	4日	肺炎	KT39.4°C SPO2 78% O2 3Lマスクにて Dr診察 肺炎の診断 抗菌剤、去痰剤4日間投与 Rp)ピクシルリンS(250)3T カルボシステイン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察していたが、高熱と酸素化不良 黄色喀痰多く肺炎悪化疑いのため 病院対応となる(8/5)
8月9日	8月14日	6日	尿路感染症	KT38.3°C 検尿：亜硝酸(-)蛋白(#)潜血(-)PH7 白血球(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤6日間投与 Rp)ピクシルリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
8月22日	8月26日	5日	蜂窩織炎	右大転子部熱感、発赤あり Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗菌剤、胃薬5日間投与 Rp)ピクシルリンS配合3T レバミビド(100)3T /3×1 経過観察へ

R7.9月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
9月1日	9月10日	10日	尿路感染症	ヘルニアカーテール内の頻回な尿詰まりあり。 腹痛(+)バット内尿漏れあり。 検尿：亜硝酸(+)蛋白(2+)潜血(+) 白血球(2+)PH(8) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤10日間投与 Rp)ノルフロキサン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
9月15日	9月21日	7日	尿路感染症	排尿時痛あり 淀血性尿 検尿：亜硝酸(-)蛋白(2+)潜血(2+)潜血(3+) 白血球(3+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤7日間投与 Rp)ノルフロキサン(100)3T/3×1 経過観察へ
9月24日	9月30日	7日	尿路感染症	KT39.8°C 検尿：亜硝酸(±)蛋白(#)潜血(#) 白血球(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤7日間投与 Rp)ピクシルリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ

R7.10月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
10月8日	10月12日	5日	右下腿蜂窩織炎	体温38.9°C 検尿：亜硝酸（-） 尿蛋白（-）潜血（±）白血球（-） 新型コロナ抗原検査（陰性） インフルエンザ抗原検査（陰性） Dr診察 右下腿軽度発赤腫脹、疼痛（+） 蜂窩織炎の診断。 抗生素（ペニシリン系）5日間投与 ビクシリソル配合錠3錠 3×1 屯アセトアミノフェン0.4g 投与 状態改善傾向経過観察へ
10月20日	10月29日	10日	帯状疱疹	右腰部に帯状の発疹あり。疼痛あり。 Dr診察にて帯状疱疹の診断 抗ウイルス剤投与と軟膏塗布処置 Rp) アシクロビル(400)2T 2×1 /7日間 外) ビダラビン軟膏塗布 経過観察へ
10月29日	10月31日	3日	尿路感染症	排尿時痛あり 頻尿 検尿：亜硝酸（2+）蛋白（-）潜血（±） 白血球（3+） Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 Rp) ノルフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ

R7.11月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内
11月1日	11月4日	4日	尿路感染症	kT38.1°C 検尿：亜硝酸（+）蛋白（+） 糖（2+）潜血（-）白血球（2+） Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 Rp) ノルフロキサシン(100)3錠/3×1 発熱時アセトアミノフェン0.4g 順用 経過観察へ
11月4日	11月8日	5日	蜂窩織炎	kT39.9°C 右下肢発赤、腫脹（+） Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗生素 5日間投与 Rp) ピクリソル配合錠3錠 レバミピド（100）3錠／3×1 解熱・鎮痛剤3日間投与 アセトアミノフェン（200）2錠／2×1 経過観察へ
11月10日	11月19日	10日	尿路感染症	kT38.2°C 検尿 尿蛋白（+） 亜硝酸（-）白血球（+） Dr診察 尿路感染症の診断。 抗菌剤 5日間投与 Rp) ノルフロキサシン(100)3錠 レバミピド（100）3錠／3×1 発熱持続につき解熱剤7日間投与 アセトアミノフェン（200）2錠 2×1 経過観察へ
11月10日	11月19日	10日	尿路感染症	ハルクテーテル留置中 浮遊物多く詰まりにて交換。その際シハリング（+）kT38.7°C 検尿：亜硝酸（+）ケトン体（2+） 尿蛋白（3+）潜血（+） 白血球（2+） Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤 当面継続処方 Rp) ノルフロキサシン(100)3錠3×1 解熱傾向となり経過観察へ
11月6日	11月15日	10日	帯状疱疹	右背部、右前胸部、右上肢発疹（+） 右半身疼痛（+） Dr診察にて、帯状疱疹の診断 抗ウイルス剤投与と軟膏塗布処置 Rp) アシクロビル(400)2T 2×1 /7日間 外) ビダラビン軟膏塗布 経過観察へ
11月6日	11月10日	5日	蜂窩織炎	kT38.4°C 右大腿部発赤、腫脹あり Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗生素内服処方 Rp) ピクリソル配合錠(250)3T3×1 5日間 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ